R７南信教育事務所だより

教うるは 学ぶの 半ばなり

教学半也

令和７年７月7日
No.６

日々、人権教育を行う全ての先生方へ

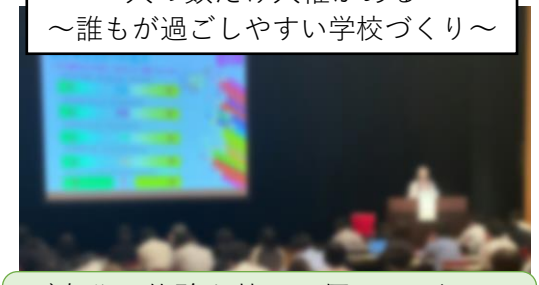
学校人権教育研修・連絡協議会【南信地区】令和７年５月27日（火）

これまでの「当たり前」を見直してみませんか？

「校種間相互の連携を進めることで教職員の人権意識を高め、各学校での人権教育の充実を図る」ことをねらいとし、諏訪・上伊那地区の小・中・特別支援学校の人権教育担当の先生方が伊那市のいなっせに集まり、研修会が行われました。

本年度は、坂井真琴さん（ＮＰＯ法人子ども・若者サポート　はみんぐ）を講師にお招きし、「性と人権」について学び合いました。

演題　人の数だけ人権がある
～誰もが過ごしやすい学校づくり～



ご自分の体験を基に、優しく、温かな雰囲気で語られる坂井さん

【参加者の感想より】

当事者である坂井さんのお話から、**当事者にとって、学校生活の中にどれだけ苦しさがあるのか気付かされました**。まずは「自分が正しく知る」、そして「子供たちに伝えて」いきたいと思いました。**より一層、自分の意識、言動を見直し、子供たちの心を傷つけることがないよう気を付けていきたい**と思いました。

「性の多様性」のお話を聞いて、ハッとさせられました。子供の呼び方を男子と女子で分けていること、くじ引きを男女別にしていること等、**意識をしていないと何も気付けないと思いました**。性の多様性だけではなく、他の人権問題も含め、**子供一人ひとりとしっかりと向き合わないといけないと強く感じました**。子供たちが学校を出た後も、無意識な差別がないように、正しく伝えてきたいです。

坂井さんの講演をお聞きした後、「自校の人権教育にどういかしていくか」を小グループで話し合いました。講演を受け、**「今の学校は、本当にどの子にとっても居心地がよいのだろうか」と問い直し「今までの当たり前を見直す」必要性を話されていた先生方の姿が印象的でした**。

話し合いの様子

「研修の内容を校内の先生方と共有し、できることはすぐにやってみたい」と熱い決意をもった先生もいらっしゃいました。本研修に興味をもたれた方は、ぜひ参加された先生に詳しい内容を聞いてみてください。校内の先生方同士で、これまでの「当たり前」について語り合ってみませんか？

【お知らせ】
第２回の学校人権教育連絡協議会は、
【上伊那】６月12日（木）伊那北高校（済）
【諏訪】　10月16日（木）下諏訪向陽高校　となります。
高校の人権教育を学ぶ貴重な機会になります。
ご都合をつけてのご参加をお願いいたします。

本研修内でも紹介した赤本（人権教育指導資料集）はＨＰでも見られますので、ご活用ください。